

科目名 Course Name	医療的ケアⅡ Medical Care II				ナンバリング No.	J3-009	
年次	2年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	和田晴美						
連絡先(質問等)	福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは教員より説明する。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1、DP2、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>「医療的ケアⅡ」では、呼吸器官のしくみとはたらき、呼吸異常の種類、喀痰吸引が必要な状態や吸引のしくみと種類、また、吸引によっておこる危険、実施手順と留意点等について学習する。</p> <p>①呼吸器官の構造と機能について、説明できるようにする。 ②喀痰吸引の種類について、列挙できるようにする。 ③喀痰吸引を必要とする状態及び人工呼吸器を必要とする状態を、列挙できるようにする。 ④喀痰吸引により生じる危険と安全確認事項を、列挙できるようにする。</p>						
授業の方法	主に講義形式であるが、グループディスカッションやロールプレイを通して共通理解を目指す。既習内容については、知識の確認をしながら進める。また、学生が具体的にイメージしやすいように喀痰吸引で用いる器具・器材については実物を提示する。						
学習成果	L01						
	L02	呼吸器官のしくみとはたらき、喀痰吸引の必要性や生じる危険等をふまえた上で、吸引を行う利用者と家族の気持ちを思いをはかりながら、医療的ケアである喀痰吸引を、安全かつ適切に実施するために必要な知識を習得することができる。					
	L03						
	L04	喀痰吸引の実施時には、医師や看護師との連携が必要であることを説明することができる。					
課題に対するフィードバック	小テストは、授業内で解答・説明する。単位認定試験の対策を行い、授業内で解説する。						
教科書/参考図書	新・介護福祉士養成講座 第15巻 医療的ケア 中央法規出版(医療的ケアⅠ・Ⅲ・Ⅳと同じ)						
履修上の留意点やルール等	医療的ケアはⅠ～Ⅲを履修し単位を修得しないと、医療的ケアⅣを履修することができないので注意が必要である。学習内容を確認し、「こころとからだのしくみⅠ」を復習して、積極的に授業に参加すること。この授業は、前期前半のクォーター科目である。週2回授業があるので、注意する。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	既習内容の復習および教材の準備をして授業に臨み、必要なことはノートにとり、疑問点は質問すること。ロールプレイやディスカッションでは他者の意見を傾聴し、自ら積極的に発言して学びを深められること。		10		10
レポート/作品					
発表					
小テスト	第7回に知識の確認のため、小テストを行う。		10		10
試験	授業の振り返り、知識習得の確認のために試験を行う。問題は文章の正誤を判断するものや語群からの選択問題、穴埋め問題、記述問題等。		50		10
その他					
合計			70		30

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の概要・到達目標・評価方法等) 呼吸器官のしくみとはたらき① 既習知識の確認
	事前・事後学習	1 年前期の授業で学んだ「呼吸器」を復習。解剖と各部の名称をノートに記載する。
2	授業内容	呼吸器官のしくみとはたらき② 呼吸器官の構造と機能 呼吸の仕組み
	事前・事後学習	授業で配布された資料の解答できなかった部分を調べて記載する。
3	授業内容	呼吸の異常と痰の排出
	事前・事後学習	今までの、「息が苦しかった時」「痰が出た時」を思い出してノートに状況を記載する。
4	授業内容	喀痰吸引が必要な状態
	事前・事後学習	吸引が必要な状態が、どのような時に、どうして起こるかを調べノートに整理する。
5	授業内容	人工呼吸器と吸引① 人工呼吸器が必要な状態
	事前・事後学習	テキストの人工呼吸器の図をノートに転記し、各部の名称を記載する。
6	授業内容	人工呼吸器と吸引② 人工呼吸療法の種類と吸引の方法
	事前・事後学習	口鼻マスク、ロマスク、鼻カニューレ、気管カニューレの特徴と利点・欠点を比較する一覧表を作成する。
7	授業内容	人工呼吸器と吸引③ 人工呼吸器装着者の留意点【小テスト】
	事前・事後学習	人工呼吸器をつけた人に必要なケアを調べ、ノートに記載する。
8	授業内容	吸引を受ける利用者および家族の気持ちと対応、説明と同意
	事前・事後学習	呼吸が苦しい状態の時の気持ちを考え、5 つ列挙する。
9	授業内容	子どもの吸引【グループディスカッション、プレパレーションのロールプレイ】
	事前・事後学習	プレパレーションの準備。必要物品の用意。
10	授業内容	呼吸器系の感染と予防、喀痰吸引により生じる危険と安全確認
	事前・事後学習	感染による異常な痰の状態について検索し、ノートに記載する。
11	授業内容	高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順① 喀痰吸引で用いる器具・器材
	事前・事後学習	必要物品を調べ、口腔内・鼻腔内と気管カニューレ内に分けてノートに整理する。
12	授業内容	高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順② 喀痰吸引の実実施手順と留意点【DVD 視聴】 <吸引に関するレポート課題 提出は第 14 回目の授業時>
	事前・事後学習	レポート課題を記載する。
13	授業内容	高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順③【演習:口腔・鼻腔吸引】 喀痰吸引に伴うケア
	事前・事後学習	自宅でベッドや枕、クッションを使い、体位ドレナージを体験し感想を記載する。
14	授業内容	高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順④【演習:経鼻経管栄養】 報告と記録
	事前・事後学習	事例の吸引実施の報告と記録を考え、ノートに記載する。
15	授業内容	授業のまとめと試験対策
	事前・事後学習	試験対策の問題を繰り返し解答し、不明点について調べる。